

# JMFF

## 日機連週報

第3504号 2025年5月23日(金)

### CONTENTS

#### ● 委員会報告

2024年度事業報告書案、同決算書案等を審議

— 統括審議委員会、各議決案件等を承認 —

#### ● 税制関連情報

イノベーション拠点税制、戦略分野国内生産促進税制の活用に向けて

— 経済産業省、税制総合 Web ページで情報を公表 —

#### ● 経済産業省公開情報

「ウラノス・エコシステム・プロジェクト制度の開始」について

#### ● 日機連の動き

#### ● 会員イベント情報

(一社)日本自動車工業会 「軽トラ市」オフィシャルサイトのご案内

(一社)日本鍛圧機械工業会 「MF-TOKYO 2025

第8回プレス・板金・フォーミング展」開催について

#### ● お知らせ

- 一般社団法人 日本工作機械工業会 【教職員・学生の皆様へ】

「2025年度インターンシップ・仕事体験実施に関する情報」公開のお知らせ

- 一般社団法人 日本バルブ工業会 「火力発電用バルブの基礎とトラブル予防」

セミナーのYouTube動画に公開について

- 経済産業省 「GENIAC-PRIZE」開始について

- 厚生労働省 「令和7年度全国安全週間実施」について

日機連ではホームページを開設しておりますのでご利用下さい。

URL : <https://www.jmf.or.jp>

[バックナンバーはこちらから](#)

<禁無断転載>

## ● 委員会報告

### 2024 年度事業報告書案、同決算書案等を審議 — 統括審議委員会、各議決案件等を承認 —

統括審議委員会(委員長・平井裕秀 (株)日立製作所 執行役常務 グローバル渉外統括本部長)の開催に代え、(1)2024 年度事業報告書案について、(2)2024 年度調査専門部会活動報告書案について、(3)2024 年度決算書案について、書面審議を行うべく委員に諮った結果、過半数の賛成を得たため、2025 年度第 1 回統括審議委員会として当該議案を可決する決議があったものとみなすことを承認した。この結果、(1)及び(3)の議案について理事会に付託した。

承認内容の概要は以下の通り。

#### (1) 2024 年度事業報告書案について

社員総会・理事会・総合役員会等、委員会事業、専門部会事業、ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)への参画・支援、他団体との協力・連携事業等 9 章からなる事業報告書案について承認した。(2024 年度事業報告書(案)の骨子は後述)

#### (2) 2024 年度調査専門部会活動報告書案について

日機連大阪事務所に設置した「関西製造業における事業継続能力向上調査専門部会」を中心に、2024 年度事業として(一財)機械振興協会との共同で実施した「関西製造業における事業継続能力向上調査」の報告書内容について説明を聞き、承認した。

#### (3) 2024 年度決算書案について

2024 年度決算書案について承認した。2024 年度正味財産増減計算書では、経常収益計 331,376,236 円、経常費用計 338,308,684 円、当期経常増減額▲6,932,448 円である。

### 〔日機連 2024 年度事業報告書 (案) の骨子〕

(※は公益財団法人 JKAに係る機械工業振興資金補助事業)

#### 第 1 章 2024 年度活動の概要

#### 第 2 章 社員総会、理事会、総合役員会等

##### 1. 社員総会

##### 2. 理事会

##### 3. 総合役員会

##### 4. 監事による監査

#### 第 3 章 委員会事業

1. 統括審議委員会

2. 研究委員会

- 2-1. 技術イノベーション研究委員会
- 2-2. GX 研究委員会
- 2-3. グローバル・バリューチェーン研究委員会
- 2-4. 企業マネジメント研究委員会
- 2-5. 関西事業活力研究会

3. 特別委員会

3-1. 税制金融政策特別委員会

令和 7 年度税制改正に関する要望

3-2. 機械安全標準化特別委員会

機械安全標準化事業

3-3. 機械安全推進特別委員会

機械安全推進事業

(1) 機械安全規格改定のための調査研究（新技術を導入した機械への対応）

(2) 機械安全国際規格の最新動向の提供（講演会等）、その他広報普及活動

3-4. ロボット大賞審査特別委員会 ※

○第 11 回ロボット大賞

第 4 章 専門部会事業

1. 調査専門部会

関西製造業における事業継続能力向上調査専門部会

関西製造業における事業継続能力向上調査

2. 企画評価専門部会

第 5 章 調査・情報事業等

1. 講演会等諸会合の開催

- (1) 講演会及び説明会
- (2) 政策当局との連携会合
- (3) 賀詞交歓会

2. 中国経済研究会を開催

3. ホームページの運営

4. 日機連定期情報の発信

- (1) 日機連週報
- (2) JMF 経済ニュースレター

5. 労働安全衛生部会の活動

6. 関西地区での事業の実施

- 6-1 関西地区での諸会合等
- 6-2 関西ものづくり産学官連携情報プラザの運営
- 6-3 日機連大阪メルマガの発信

第 6 章 ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)への参画・支援

第 7 章 他団体との協力・連携事業



1. (一財)機械振興協会との連携強化
2. 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構(JEED)と人材育成分野における協力を係る連携活動を推進
3. 団体会員との情報連携

〔総務部〕

## ● 税制関連情報

### イノベーション拠点税制、戦略分野国内生産促進税制の活用に向けて ー経済産業省、税制総合 Web ページで情報を公表ー

経済産業省では、同省のホームページに税制総合 Web ページを公開、関連情報を掲載しています。<https://www.meti.go.jp/main/zeisei/index.html>

本年年 4 月 2 日、令和7年度税制改正に伴う税法改正や政省令の施行により、同税制 Web ページが更新されております。

#### (1) イノベーション拠点税制 (イノベーションボックス税制)

我が国のイノベーション拠点の立地競争力を強化する観点から、海外と比べて遜色ない事業環境の整備を図るため、国内で自ら 研究開発した知的財産権(特許権、AI 関連のプログラムの著作権)から生じるライセンス所得、譲渡所得を対象に、所得控除 30%を措置する制度です。2024 年度税制改正で創設され、本年 4 月より施行され、適用期間は7年間です。

企業がイノベーション拠点税制を適切かつ円滑に利用するための「イノベーション拠点税制(イノベーションボックス税制)ガイドライン」が策定されました。

- [イノベーション拠点税制\(イノベーションボックス税制\)ガイドライン\(PDF 形式:2,365KB\)](#)

#### (2) 戦略分野国内生産促進税制

世界で戦略分野への投資獲得競争が活発化する中、戦略分野のうち、特に生産段階でのコストが高い事業の国内投資を強力に促進するため、過去に例のない新たな投資促進策として 2024 年度税制改正で創設されました。具体的には、①電気 自動車、グリーンスチール、グリーンケミカル、持続可能な航空燃料(SAF)、半導体(マイコン・アナログ)等を対象に、②生産・販売量に応じた税額控除を、③10 年間の適用期間で措置されます。

改正産業競争力強化法の認定に係る本税制の対象資産等の詳細が本年 3 月 25 日交付の関連省令や命令で定められました。

〔企画部〕

● 経済産業省公開情報

「ウラノス・エコシステム・プロジェクト制度の開始」について

経済産業省では、同省のホームページにおいて、**ウラノス・エコシステム・プロジェクト制度の開始**を公表、同制度に係る支援案件への募集を行っていますので、お知らせします。

詳細は、以下ホームページを参照願います。

[https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/digital\\_architecture/ouranos/ouranos\\_project.html](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/digital_architecture/ouranos/ouranos_project.html)

経済産業省では、関係省庁や独立行政法人情報処理推進機構デジタルアーキテクチャ・デザインセンター(以下「IPA DADC」といいます。)とともに、運用及び管理を行う者が異なる複数の情報処理システムの連携に関する取組として、「**ウラノス・エコシステム(Ouranos Ecosystem)**」を推進しています。

人手不足や災害激甚化、脱炭素への対応といった社会課題を解決しながら、イノベーションを起こして経済成長を実現するため、企業や業界、国境をまたぐ横断的なデータ共有やシステム連携の仕組みの構築が必要となっています。縦割りの部分最適ではなく全体最適を目指して、参加者の自律的な横連携を推進し、競争分野以外での協調・共創で異業種間での価値を創造することが、競争力の強化につながります。こうしたデータ連携に関する取組を実施するに当たっては、国内における幅広い企業の参画の促進や、海外のデータ連携に関するイニシアチブとの相互運用の調整(ガラパゴス化の防止)を図ることが重要になります。

国内において、このような取組が黎明期にある中、「異なる事業者間で行われる、データに関するコントロール可能性及び参加者が使用するサービスの多様性が担保された、オープンなデータスペースを介したデータ連携」というウラノス・エコシステムの趣旨に合致する取組を優良事例として取り上げることで、ウラノス・エコシステムの更なる拡大が期待できることから、経済産業省は、新たに「ウラノス・エコシステム・プロジェクト制度」を開始します。本制度では、ウラノス・エコシステムの趣旨に合致するデータ連携に関するプロジェクトを「ウラノス・エコシステム先導プロジェクト」又は「ウラノス・エコシステム挑戦プロジェクト」として公表します。

〔総務部〕




 日機連の動き

## ○ 今後の会合予定

開催日時		会 合 概 要	場 所
5月	26日(月) 15:00～	第 78 回社員満足向上懇話会(大阪事務所)	日機連大阪事務所
	27日(火) 13:30～	第 117 回 IEC61496WG	日機連会議室 3
	30日(金) 14:00～	第 101 回社員満足向上懇話会・実務担当者部会(大阪事務所)	梅田センタービル
6月	3日(火) 15:00～	第 653 回海外業務懇談会	日機連会議室 1
	4日(水) 15:00～	第 608 回関西団体協議会(大阪事務所)	日機連大阪事務所
	5日(木) 15:30～	会員講演会 特別講演 経済産業事務次官 飯田祐二様 講演テーマ「最新の政策動向」	日機連会議室 1・2 及び WEB
	6日(金) 15:30～	第 714 回総務懇話会(大阪事務所)	日機連大阪事務所
	11日(水) 15:30～	第 10 回企業マネジメント研究委員会 講演テーマ「富士通様が目指す労働力不足時代の製造業への生成 AI 活用」 講師:富士通株 人工知能研究所 シニアディレクター 鈴木源太様	富士通株 本社 ・Fujitsu Technology Hall で の技術紹介視察
	13日(金) 15:00～	第 128 回環境配慮事例研究会(大阪事務所)	日機連大阪事務所
	18日(水) 15:00～	2025 年度春総会関連行事	日機連会議室 1・2・3
	24日(火) 14:00～	2025 年度ロボット大賞 第 1 回審査・運営委員会	日機連会議室 2 及び WEB
7月	2日(水) 15:30～	第 10 回 GVC 研究委員会 テーマ:「トランプ 2.0 の動向から見る米国の今後 ～日本企業の対米ビジネスに必要な視点～(仮)」 講師:(株)丸紅経済研究所 代表取締役社長 (丸紅株 執行役員)今村 卓様	日機連会議室 1
	3日(木) 10:30～	第 97 回(2025 年度第 1 回)関西事業活力研究委員会 昼食懇談会(大阪事務所)	ホテル阪急 インターナショナル

## 会員イベント情報

### (一社)日本自動車工業会「軽トラ市」オフィシャルサイトのご案内

「軽トラ市」とは、軽トラックの荷台に食料品、衣類、雑貨などの商品を陳列し、販売する臨時の市のことで、岩手県雫石で発祥し、全国に広がっています。軽トラックをはじめとした軽自動車が、地域活性化、街おこしのお手伝いをしています。

[一般社団法人 日本自動車工業会\(自工会\)](#)は、この「軽トラ市」が継続的に開催され、さらに新しい地域での開催が生まれるなど、もっともっと全国に広がることで、軽自動車が地域活性化の助けとなる事を願っています。

軽自動車を通じて事業者やお客さまの生活を豊かにする一助になればと、全国で開催される軽トラ市の情報を集め、発信していくオフィシャルサイトを立ち上げました。

日本自動車工業会も、全国津々浦々で、今後ますます軽トラ市が発展し、地域に笑顔があふれるお手伝いをさせていただきます！

オフィシャルサイトの「[全国軽トラ市情報\(KEI-TRUCK MARKET INFORMATION\)](#)」では、日本全国で合計 64 団体の開催予定を掲載中です。私たちの生活に身近な軽自動車が、各地の地域おこしの基盤として活用されています。

サイトの開催予定は、常時更新されておりますので、ぜひチェックしてみてください。  
バラエティ豊かな各地の軽トラ市に、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？



記



バナーをクリックして[全国軽トラ市情報\(KEI-TRUCK MARKET INFORMATION\)](#)をチェック！！

## (一社)日本鍛圧機械工業会「MF-TOKYO 2025 第8回プレス・板金・フォーミング展」開催について

[一般社団法人 日本鍛圧機械工業会\(JFMA\)](#)では、鍛圧機械(プレス・板金・フォーミング・自動化・周辺機器)の国際展示会として「MF-TOKYO」を開催しております。本展は、ドイツと並び世界で製造産業をけん引する日本の最先端の機械や技術を紹介し、わが国の鍛圧機械産業の発展を目的としています。

MF-TOKYO 2025 は出展社数・小間数ともに過去最大の規模で開催します。本展では、カーボンニュートラル(CN)や SDGs に対する要請を『人と地球にやさしい技術』と捉え、前回に続きそのワードを包含した「人と地球にやさしい技術、持続可能な未来を築く」を副題としました。CN の実現に向けては各社が取り組まれていると推察します。しかしながら機械単体、また各社単独での CN の実現は極めて難しく、材料の調達から加工・製造・物流・消費を経て、最終的にリサイクルや廃棄までの、いわゆるライフサイクルで CN の実現を目指すことが肝要ではないでしょうか。

2 年前には EV 化一色に染まるような世界の情勢でしたが、HV・PHV が選択肢の一つとして再び注目される流れをみるとその方向性は流動的と言えます。そうした変化に対して鍛圧機械産業は十分に対応できる“底力”があると思います。鍛圧機械・自動化装置・関連機器・加工技術・サービス技術が一堂に会する本展にて、ぜひ優れた製品や技術をご覧ください本展示会を情報収集・商談の場としてご活用いただければと思います。

関係各位のご参加を心よりお待ちしております。



### 記

- 名 称 : MF-TOKYO 2025 第8回プレス・板金・フォーミング展  
副 題 : 人と地球にやさしい技術、持続可能な未来を築く  
会 期 : 2025 年 7 月 16 日(水)~19 日(土)10:00~17:00(最終日は 16:00 まで)  
会 場 : 東京ビッグサイト 東 4~8 ホール  
主 催 : 日本鍛圧機械工業会 / 日刊工業新聞社  
入場料金 : 1,000 円(招待状持参者および事前登録者、中学生以下は無料です)



バナーをクリックして MF-TOKYO2025 をチェック！！

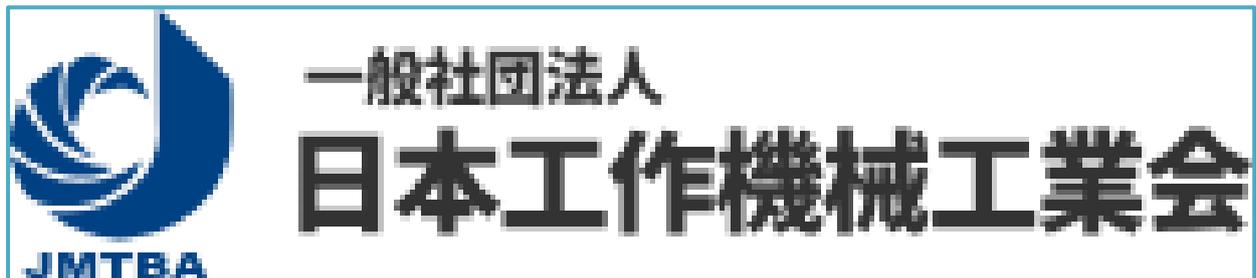
お知らせ

一般社団法人 日本工作機械工業会 【教職員・学生の皆様へ】  
「2025 年度インターンシップ・仕事体験実施に関する情報」公開のお知らせ

[一般社団法人 日本工作機械工業会\(JMTBA\)](#)では、日本の工作機械産業における人材の確保・周知を最重点課題の一つとして捉え、諸般の活動を実施しております。

この度、この取り組みの一環として教職員・学生の皆様向けに、日工会員企業における「2025 年度のインターンシップ・仕事体験実施に関する情報」を日本工作機械工業会の[オフィシャルサイト](#)にて公開しております。(現在、日本の工作機械メーカーの 20 社以上の情報が掲載されております。)

詳細については、オフィシャルサイトの 2025 年度インターンシップ・仕事体験実施情報一覧ページにて、PDF をダウンロードして応募要領をご参照の上、参加ご希望の向きがございましたら、同表に記載の各担当者宛てにご連絡ください。



ロゴをクリックして日工会「2025 年度インターンシップ・仕事体験実施情報」のページをチェック！！

また、一般社団法人 日本工作機械工業会では、他にも工作機械に関する様々な情報を[オフィシャルサイト](#)で公開しておりますので、併せてご覧ください。



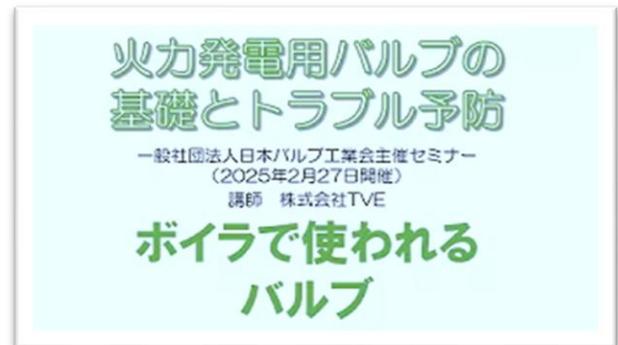
日工会主催の検定試験「工作機械検定(MT 検定)」の過去問も要チェックです！！

一般社団法人 日本バルブ工業会「火力発電用バルブの基礎とトラブル予防」  
セミナーの YouTube 動画に公開について

[一般社団法人 日本バルブ工業会\(JVMA\)](#)では 2025 年 2 月 27 日(木)に開催した「火力発電用バルブの基礎とトラブル予防」のオンラインセミナーの収録を 6 月 13 日までの期間限定で、YouTube動画に公開中です。バルブは様々な分野、場所で利用されています。この機会に、ぜひご視聴ください。



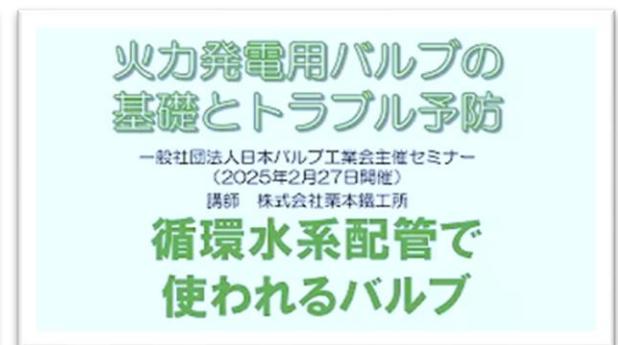
#1 ~ 安全弁



#2 ~ ボイラで使われるバルブ



#3 ~ 超低温弁



#4 ~ 循環水系配管で使われるバルブ

サムネイルをクリックするとYouTube動画サイトにアクセスします。

また、一般社団法人 日本バルブ工業会では、他にもバルブに関する諸情報や動画をオフィシャルサイトで公開しておりますので、併せてご覧ください。



ロゴをクリックしてバルブ工業会のオフィシャルサイトをチェック！！

## 経済産業省「GENIAC-PRIZE」開始について

経済産業省から、生成 AI の利活用促進にお役立ていただける支援策のお知らせです。

生成 AI の社会実装に向けたプロジェクト「GENIAC-PRIZE」を開始します！ ChatGPT に代表されるように、生成 AI は様々な作業を人間に代わって行える可能性を秘める革新的な技術です。我が国においても様々な生成 AI が開発されていますが、今後は開発と利活用を一体的に促進することが重要です。

GENIAC-PRIZE では、以下テーマに即した生成 AI サービスの開発や導入に向けた実証を促進し、優秀な成績を収めた応募者に懸賞金を授与する形で支援を行います。皆さまのご応募をお待ちしております。

### ○テーマ

- ・国産基盤モデル等を活用した社会課題解決 AI エージェント開発  
(製造業の暗黙知の形式知化/カスタマーサポート)
- ・官公庁等における審査業務等の効率化(特許審査業務がモデル)
- ・生成 AI の安全性確保に向けたリスク探索及びリスク低減技術の開発

※ 懸賞総額は総額約8億円程度。

説明会は 5 月 26 日(月)9:30～  
参加希望の方はお急ぎください。

ご興味がある方は、まずは説明会へご参加ください！ (説明会等の詳細は下記をご覧ください。)

○詳細はこちらから [https://www.nedo.go.jp/koubo/CD2\\_100402.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/CD2_100402.html)

○お問い合わせはこちらから [geniac\\_prize@bcg.com](mailto:geniac_prize@bcg.com)

※参考1(GENIAC-PRIZE リーフレット) <https://www.nedo.go.jp/content/800025292.pdf>

※参考2(経産省プレスリリース) <https://www.meti.go.jp/press/2025/05/20250509002/20250509002.html>

## 厚生労働省「令和7年度全国安全週間実施」について

厚生労働省より、「令和7年度全国安全週間実施」について、周知依頼がありましたので、お知らせします。

記

令和7年7月1日から、7月7日まで「令和7年度全国安全週間」が実施されます。(6月1日から6月30日までを準備期間です) 全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、「産業界での自主的な同労災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全かつ活動の定着を図ることを目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で98回目を迎えます。

今年のスローガンは

「多様な仲間と 築く安全 未来の職場」

で取り組みます。

詳細については、[令和7年度全国安全週間実施要項](#)をご参照ください。